

刊夕日七月二十



刊日
定価一冊五円
発行所 常磐毎日新聞社
印刷所 常磐毎日印刷株式会社

救護法に就て

平町共済會委員 門傳清吾

とある右一、二、三、號に該當する被救護者に對する救護は到底救護法の目的を達成すること能はざるのみならず斯様な者でも救護せねばならぬとすれば救護法は却て情民の養成所或は無頼漢集合所の如き奇觀を呈するに至るべく社會に對し恐るべき害毒を流すに至るべきを以て斯る者に對しては救護を廢すべきは勿論であらねばならぬ然し反則者であるからと總べての反則者に對し直ちに救護を爲さぬことにするの早計である可成は救護機關に於て是等の者に對し懇切に訓示戒告して其反省を促し改愼の見込みあるに至りたる者に對しては引續き救護するを可とするを以て本條にも「救護を爲さざることを得」とありて「救護を廢止す」とか「救護を爲さず」と云ふが如く絶對救護廢止の規定を爲さなかつたのであると信ずる

は本法に基きて發する命令又はこれに基きて爲す處分に違反したるときは地方長官は同項の認可を取消すことを得
本條に該當するものは救護施設としての價値がないから認可を取消されても致方がない然し之も前條の場合と同様一度救護施設として存在した以上は可成訓戒して反則せぬ見込あらば認可を取消さぬが得策である
第三十一條 道府縣、市町村、其他の公共團體は左に掲ぐる土地建物に對しては租税其他の公課を課することを得ず但し有料にて之を使用せしむる者に對しては此の限りに在らず一、主とし救護施設の用に供する建物
二、前號に掲ぐる建物の敷地其他の主として救護施設の用に供する土地
此の規定は救護法の目的を完全に達成する爲めには必要なる限度の救護施設を奨励するを可とする

政策的意味と救護施設本來の性質が公共的であること等により免稅することにしたのであると信ずる故に若し之等の施設を有料を以て使用せしむる者であるならば之等の者は利益を目的とするもので公共の利益を直接目的とするものでないから免稅するの趣旨に反するが但書の規定を以て免稅せぬ事にしたのである
第三十二條 詐偽其他の不正の手段に依り救護を受け又は受けしめたる者は三月以下の懲役又は百圓以下の罰金に處す
思ひで
亞木良
ないて別れたあの木の下は今年の秋も落葉が多い落葉ふみ／＼ひとり歩けば私の氣は沈む



磐城名産
らか鹽と節鯨
魚問屋
店理代平命生本日大最優最
榮盛賀志
番三一電 目丁四平

冬の通學服
なかや洋服店
長ツボン付
小學生用.....・85錢
同(特製品).....1・90錢
中學生用.....2・80錢

セメント
壁用材料
ペンキ塗料
板ガラス
西村屋藥舖
平町二丁目電三

外科
門專
科線光X
上田外科醫院
平町南町
電話二一九番

保險は人生の鍵
◎山は富士、保險は三井
一、老へ行く先の感安になさんとする人々は.....三井生命へ
一、將來獨立の生計をなさんとする人々は.....三井生命へ
一、遺族の爲に扶助金を造らんとする人々は.....三井生命へ
一、人生は朝露の如し萬一に備ふる人々は.....三井生命へ
一、貯金よりも最も有利なる方法を求めんとする人々は.....三井生命へ
一、今日は人の身明すは我が身と思ふ人々は.....三井生命へ
一、保險加入の有無は自己信用の尺度と思ふ人々は.....三井生命へ
三井生命
三井生命平駐在社員 福島 寛利
三井生命代理店主幹 佐藤 永春

石炭經濟の理想的ストーブ
フクロクストーブ
阿部石炭商店
電話二三七番

月曜言論

平附近の地下掘通

仙臺礦山監督局の技術者一行が最近に平町以南耕地の地質調査を行つた、是れは磐城炭礦の出願に係る礦區願を許可する前提行為であるといふ、同出願に對しては曩に監督局から平町に右の諸否如何の問合せがあつたに際し平町は町會の決議に基き地敷に變動を與ふる危険が多いと爲し是れに不同意を表した、然るに今回の調査の結果を仄聞する處に依れば現在の礦業法に基き充填法其他坑内に諸般の設備を講ずる結果絕對に變動の危険等は伴はぬと云ふに一致したらしい、然れ共内郷村の耕地龜裂、或ひは湯本トンネルの陥没等々の事實は何を物語つて居るか技術者は是れを人為的變動にあらずとて、其の責めを自然に負はしむるかも知れない、然る場合に被害者は無告の民となつて、其の災害を甘受するより外はないのである。吾々は地下の寶庫を開拓すべき炭礦事業の隆昌は是れもとより望む處であるが、其の反面に生活の本據を脅やかさるべき地盤變動等の災禍を忍従すべき義務を負ふの必要はない一度平町が不同意を唱へた此問題再然に臨んで議員諸公は是れを如何に取扱はれるか、暫く其のお手並みを拜見したく思ふ

平町に初めてのラクビー試合

警中對仙工の激闘 警中惨敗す

創設以來最初の腕試しである警中ラクビーチームの第一回對抗試合は七日午後一時より警中グラウンドにて遠來の仙臺工業チームを迎えて壯烈に行はれたが練習のみで實戦の試験を経ぬ警中は最初から聯絡の巧な工業に壓迫され前半戦は警中ノートライに終る十分休憩引續き後半戦に入り警中稍元氣を盛り返し敵陣真近迄攻込したが工業の巧な防戦に食ひ止められ三点のみでタイムアップとなり工業は前半十三、後半十七の得点で警中を寄せ付けず始終警中ゴール近くに攻込んで居た、尙兩軍のメ

Table with 3 columns: 警中, 工業, 警中. Rows show scores and player names like 野嵐浦賀野井野, 丹五三志片小真植, etc.

就學兒童の届出を怠るな

明七年度平町三小學校に入學すべきは大正十四年四月二日より大正十五年四月一日生れの兒童であるが是等の中に本籍地、寄留地、現住所の届出がない爲め就學上支障を來す場合があるの

桑園改良

石城郡下に於ける桑園改良實行組合長會議は五日午後二時より團体事務所を開會小林久之濱蠶業取締支所長及び万石縣蠶業技手を始め郡下六十五組合長出席左の事項を協議した

自然に對して

子供の偽らぬ感興

水竹訓導が短唱詩指導 教室の一隅に『投書箱』

子供は誰も氣のつかない時でも己れの生活の中へ食ひ込んでしまつて居る。手を振り脚を上げ胸を張つて大自然の中へ躍り出た無想外な處に萬歳や歡喜の聲を放す、想はざる草や虫類に魂をひそめ涙を堪えて佇んで居る。

好間果樹總會

石城郡好間村果樹組合では九日午前十時より組合長同村上好間字内ノ章金成義雄氏宅に定期總會を開き本年度事業の報告並に明七年度豫算の件其他を協議した

科人婦科産 院醫坂井

町田町平 番九五五話電

平町人事

△高野得助氏 同列車にて 上京
△長橋明三 小野園次郎氏 三男和男
△紺屋町六三 仁平正義氏 四女郁子
△東京府下南葛飾郡寺島町 四一五 高松龜次氏(二七) 新川町一四 林トシノ(三三)
△杉平二〇 花海義四郎 (六三)

△植電社長金成通氏本日 教室の一隅に『短唱詩投書箱』なるものを設け少年教育に一新面を拓いた自由な感興を自然に對する。

此の子供の心境を何もい事……は由來純真にして大空の如き魂に通じて居る彼等は自然をスバリと痛快に切りとつて來て居る、彼等は自然を切りとるべき極めて鋭利な剃刀を持つて

左は最近の投書箱から得た短唱詩である さ……静かな風の音です さくらののはつば赤い葉になつておちた。(大槻) タぐれ近い、稻かやいてる。(石坂) 枯すき、お月様に顔をさらして、(河野) 赤い夕日の、池の水にさら……と流れる水の秋です。(齊藤)

これからの食物は……

鳥小焼 味美。てくし。安の價。 番六八二話電

大塚の 學生靴!!! 耐久新製品 編上靴 六〇〇 半靴 五〇〇

一冊の代金で 御希望通りな 五冊の雑誌が 自由の讀める 川崎 回文庫 電六三〇番

大塚店製靴部 電話七七番 不安心なるキカイ靴より、安心得る弊店の靴を……

けさ磐炭坑内で

俄然ガス爆發す

カンテラの灯から引火して 三名が大火傷を負ひ虫の息

今七日前七時頃石城郡内郷村磐炭坑町田立坑廣畑坑内にガス充滿して、居るを知らず同炭坑後山同村宮宇平太郎居住相馬千代治(一)がカンテラをつけて入坑した爲めガスに引火し大音響と共に爆發し同人を始め折柄ガス排除作業に従事して居た同村平太郎十五號渡邊政一(三)同村宇峯根十七號横尾富次(三)の

兩坑夫も、夫れに煽られ三名共に全身黒焦げの大火傷を負ひ虫の息となつて救援隊に救助されたが生命は覺束ないと尚ほ同坑内は五日の公休でガス排除の機械が運轉を休止して居た爲め非常に多量のガスが充滿して居たのであると

石城郡出 身在満兵 團体募集

慰問金品

四丁目 (扱拾圓) 農行 銀行阿部六三郎 宗像義光 内地岩郎 高木直一 猪狩政秋 佐久間清 氏 家勇次郎 宮内金吾 矢吹康吉 (參圓) 小野常治

る十九名の出征兵の家庭を六日勤務課總動員を以て家庭を訪問して慰安する處があつた

磐崎軍人分會が 長文の激勵電報

石城郡磐崎村在郷軍人分會青年團は六日同村小學校に宮尾中佐の滿洲問題講演會を開き閉會後激勵の長電を關東軍に打電した

村内出征兵へ 中老會の赤誠

石城郡高久村大字下高久字馬場の部落民よりなる中老會では同村出身滿洲出征兵

眞夜中頃 臨時機關車運轉

平町才穂小路の踏切りにおいて本年二月十五日夜驟死した石城郡平窪村松本清吉(三)の遺族が鐵道を相手に提起した損害賠償の請求訴訟はその後平支部で一回辯論をなしたがいよいよ七日實地検査をする事となり事件の發生した眞夜中頃平窪間に臨時に機關車を運轉し見透し關係を検證する

七百圓の 通帳盗難

石城郡磐崎村字湯長屋高久公(〇)方五日午後四時頃家人の留守中何者にか竊奪中の七百圓記入の郵便貯

眞夜中頃 臨時機關車運轉

金通帳を窃取され其筋へ届いた

實地検査を けふ

澤渡三坂青訓査閱 石城郡澤渡、三坂兩村青訓練所秋期査閱は八日澤渡小學に九日三坂小學に於いて福島聯隊區宮尾中佐査閱のもとに行はれる筈

磐崎滿洲講演 石城郡磐崎村青年訓練所秋期査閱は六日宮尾中佐査閱のもとに同村小學校庭に於て執行する尙ほ査閱に先立つて中佐の滿洲談があつた由

高野氏が出發 既報東京へ進出する事になつた

明日の天気

今夜は南東の風曇り小雨模様明日は北西の風天気は回復

- #### 今晚の部
- 後六〇〇 (子供の時間) 「お話勇敢な小カサビアンカ」 藤田清
 - 後六三〇 英語講座 「初等科」 寺西武夫
 - 後八〇〇 繁太夫節 「新確石物語」 田伏いと他
 - 後八二五 俚諺加賀山中
 - 後八五〇 歌澤 歌澤芝 金社中

- #### 明日の部
- 後九一〇 長唄 「八犬傳」 東京仁壽講堂清明會より中繼
 - 後九四〇 時報 全國ニュース 氣象通報
 - 前九一〇 料理献立 「蒸し餅」 中村康子
 - 前一〇三〇 家庭講座 「日常生活の生理學的説明」

藤原川の改修

石城郡玉川村では同村地内の藤原川が出水毎に氾濫田畑に大被害を受けるので、しばし縣にこれが改修方を陳情してゐたが未だ實現しないので明年度早々に是非實現してくれと開會中の縣會に五日平土木監督所を経て陳情した

平職業紹介所便り

- 求人部
 - 商店雑役 十八才位、住込月五圓、尋卒以上 (赤井村炭糖糖食部)
 - 看護婦見習 廿才以下、高卒以上 (平町醫院)
 - 指物見習 廿才前後、高卒、住込面談 (富岡町)
- 求職の部
 - 女中 四十五才、無學、月五圓位 (神谷村)
 - 女中 廿九才、無學、月五圓位 (赤井村)

遂に死亡す

磐炭の火傷 別項磐炭の瓦斯爆發火傷者三名の内渡邊政一、相馬千代治の兩名は本日午後二時半死亡した

カクテル
ワイルド
シラカバ

難波醫院

平町新川町
【釜屋新宅向】
電話五〇二番



【載轉禁】

渡邊默禪作
布施平八郎畫

濡れ燕 (5)

「然う！」

静めの浪の花ときり火を
かけさせてから歌治はまづ
一安心とばかりに座敷へ上
つた、そして着てゐた盲編
の上ッ張りもぬかずに大急
ぎで今度は飛び立つやうに
電話にかゝつた、呼出した
のは川島でなくつて十文字
家であつたとして父の清作
をといふと今出かけてゐな
いといふ返辭だつた。

「留守ですか、ぢや、お尋
ねしますがね、昨晚か今朝
程若旦那はお歸りになりま
したでせうか」

氣になつて堪らなかつた
ことを訊くと取次に出た女
中が

「いゝえ未だ若旦那様はお
歸りになりません」
とおちつき拂つた女中の
答へに少からず失望させら
れて

「へえ！」
といつたさき二の句が繼
げなかつた。

「それから、あの旦那様
の御容態は其後如何でござ
います」
「何うですかね、およろし
くないやうな御様子です」
「まア！」

海嘯のやうな激しい不安

と疑惑に突浸された彼女は
受話機を握つたまゝ暫く茫
つとなつてゐた。

「お父さんもしお父さん」
ちやうどその日の朝だつ
た、千代子は父の枕邊に摺
寄つて静かに叫んで見た。



「いませうか。」
「ね、お父さん。宜しいで
せう、兄さんをお呼びして
も。」
父の返辭がないので千代
子は更に問ひかへした。そ
れはちやど林醫師と佐藤博
士が立會つて診察してから
一時間ばかりの後で、問も
なく糖ひ入れた看護婦が二
名會から派出されて來ると
いふ矢先だつた

「む……ど、何處にゐる
んだ、彼兒……は居所が
分つたのか、何うした。」
平兵衛は少し舌の纏れた
やうなかすれた聲で言つた

と惱ましげな小息を刻ませ
うと、してゐた平兵衛は
天井から吊るした氷嚢の下
に光の鈍つた眼を視開いて

「おう。」
と幽かな聲を洩らした。
「あの、少しお願が……
見さんを家に呼び寄せて戴
きたいのですが如何でござ

「電話がございましたの、
直と歸つてつてお詫をし

て一生懸命に看病をした
から、お前から一つお父さ
んに申上げてくれつて……
大變に心配してゐらつしや
る様子ですわ、兄さんも……
……。」

「何んとか言つて來たのか
つて。」
「電話がございましたの、
直と歸つてつてお詫をし

「え、分つてゐます、今ま
で構濱の方にゐらつしやた
んですけれども、昨晚ここ
らへ歸つて來てゐるんじ
つて。」
「何んとか言つて來たのか
つて。」

科病柳花・科兒小・科内 院醫沼藤

町屋紺町平
番七〇五話電

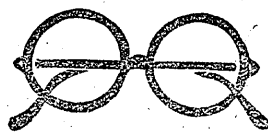
應需院入

三井 の 商品切手

番八四三二
電三三

貸切は●●●

セダン揃ひで
貸切専門の
昭和タクシーへ
電話三四三三



市價半額

- 舶來生地メニスカス近眼玉 一組 一圓拾錢
- 優等品白生地栗山近眼玉 一組 六十錢
- 新メニ玉ストロシ 一組 六十錢
- 白イロイロ 各一組 四十錢
- イロメガネ 各一組 四十錢
- 五令番と廿五番セル卷淵 三十五錢ヨリ
- クローム製淵 三十錢
- 理想のメガネ正十八金セル卷 玉入 八圓四十錢
- 大形網天張眼鏡入サツク 十二錢

店計時堂幸精

向店車動自チクキ路小樋才

毛糸

- 防寒用太毛糸 一オンス 八錢
- スキー印毛糸 一オンス 十三錢

平町田町 ハシモトヤ糸店

吉田眼科病院

平町屋町、電話六八番

の物刷印
て總は命用御
會株式刷印日每警常
番〇三六話電

時計眼鏡
トキワヤ
平一・電三三九

耳鼻咽喉科専門
大和田醫院
平町南町
電一七〇

木村外科醫院
平町五丁目橋際
電話三〇九